

消化器・一般外科で治療を受けている患者さんの情報の

研究利用についてのお知らせ

この度、三重県立総合医療センター消化器・一般外科では、「消化器・一般外科加療症例に対する通常診療において得られる臨床情報を使用した臨床的意義の解明（後ろ向き観察研究）」を実施することになりました。

この研究の目的は、消化器悪性疾患、消化器良性疾患、外傷などで消化器・一般外科で加療を受けられた患者さんの臨床経過を調べることです。

この研究のため、西暦2012年1月以降に、当院で診療させていただいた方の調査を行います。対象となるのは消化器・一般外科で加療を受けられた患者さんで、調査項目は個人情報を含まない医学的な情報（合併症の有無、治療経過等）のみです。患者様のお名前、住所などのプライバシーに関する情報が外部に漏れることは一切ありませんのでご安心下さい。

調査した情報は本研究責任者の下で厳重に管理されます。また、今回の研究で得られた結果に関しては、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告されることがあります。

この研究に必要な資金は、ありません。また、研究を実施するにあたり、研究者が公的資金以外に製薬企業などからの資金提供を受けていることはありません。

また、ご自身の情報を研究に利用することを承諾されない方は下記にご連絡下さい。その場合も、診療上何ら不利な扱いを受けることはありません。

この研究に関する資料をご覧になりたい場合、またはご質問等がございましたらご遠慮なくお尋ね下さい。

西暦2021年1月

三重県立総合医療センター

消化器・一般外科

研究責任者：毛利 靖彦

連絡先：059-345-2321（代表）